

2017年12月期 第2四半期 決算説明資料

2017年11月8日
サイバーコム株式会社
東証一部 <3852>

1. 決算概要	p 3
2. 営業利益増減分析	p 4
3. セグメント別業績	p 5
4. 貸借対照表	p 8
5. キャッシュ・フロー	p 9
6. 業績予想	p 10
7. 株主還元（予想）	p 11
8. 決算期変更	p 12
9. 参考資料	p 13

当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。
また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 決算概要

Cyber Com

2017年12月期 第2四半期実績

(単位：百万円)

	前期 (16/04-16/09)	当期 (17/04-17/09)	増減／前期比	
売上高	4,657	5,315	658	14.1%
営業利益	268	285	16	6.3%
営業利益率	5.8%	5.4%	—	—
税引前 四半期純利益	290	293	2	0.9%
四半期純利益	196	198	1	0.8%
四半期純利益率	4.2%	3.7%	—	—
1株当たり 四半期純利益	24.50円	24.70円	0.20円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	5.1%	4.8%	—	—

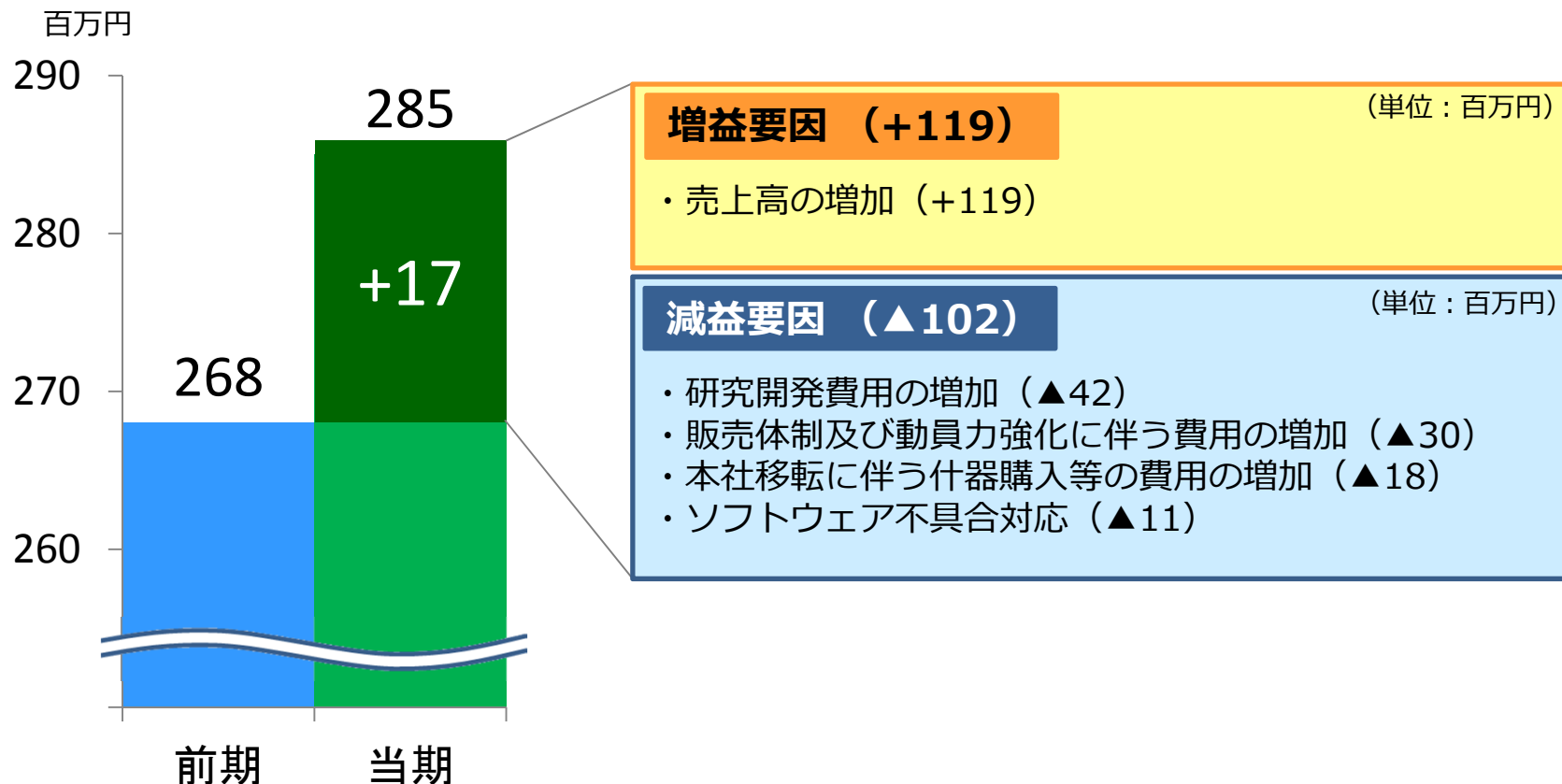
◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業が好調に推移し 53億15百万円(前年同期比 14.1%増)と増収になりました。

◇営業利益は、研究開発等の先行投資や本社移転に伴う什器購入等によって販管費が増加しましたが、増収効果により 2億85百万円 (前年同期比 6.3%増)と増益になりました。

◇四半期純利益は、助成金収入減少による営業外収益が減少しましたが増収効果の影響により 1億98百万円 (前年同期比 0.8%増)と増益になりました。

2. 営業利益増減分析

2017年12月期 第2四半期実績



◇営業利益の増加要因

自社プロダクトに関する研究開発投資の増加に加え、販売体制及び動員力強化に向けた活動や、本社移転に伴う什器購入・管理費用が増加しましたが、新規顧客開拓に向けた受注活動の推進や成長分野への積極的な営業展開を図り増収を確保したため増益となりました。

3. セグメント別業績

セグメント別売上高

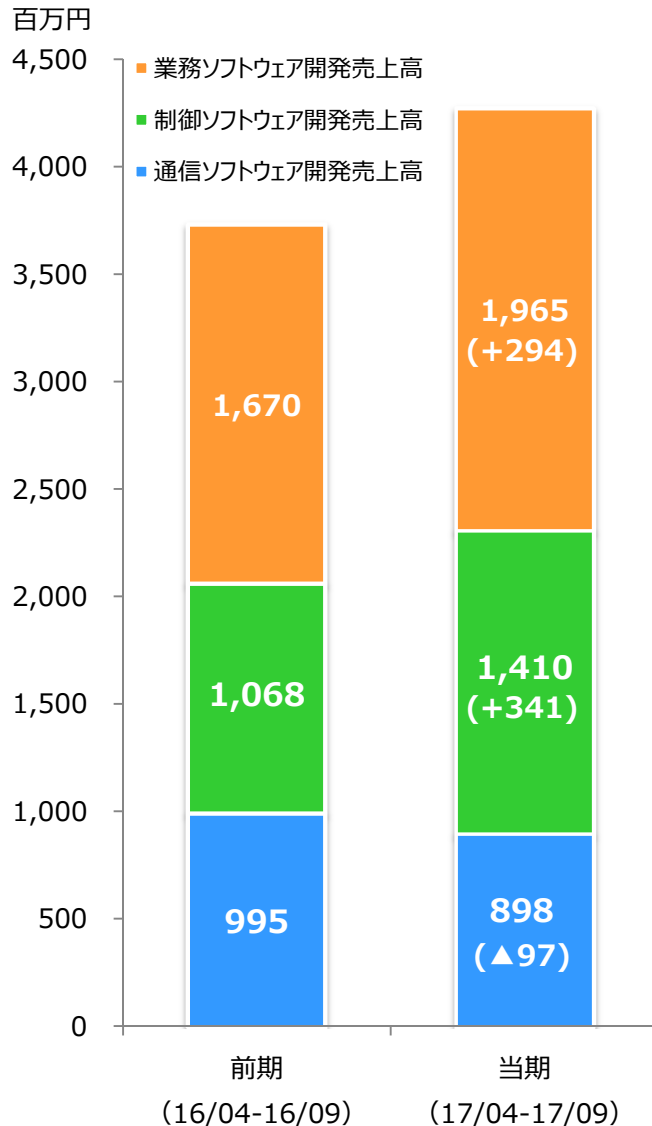
(単位：百万円)

売上高	前期 (16/04-16/09)		当期 (17/04-17/09)		前期差	前期比
	金額	構成比	金額	構成比		
ソフトウェア開発事業	3,734	80.2%	4,273	80.4%	539	14.4%
通信ソフトウェア開発	995	21.4%	898	16.9%	▲97	▲9.8%
制御ソフトウェア開発	1,068	22.9%	1,410	26.5%	341	32.0%
業務ソフトウェア開発	1,670	35.9%	1,965	37.0%	294	17.6%
サービス事業	922	19.8%	1,011	19.0%	89	9.7%
その他事業	—	—	29	0.6%	29	—
合計	4,657	100.0%	5,315	100.0%	658	14.1%

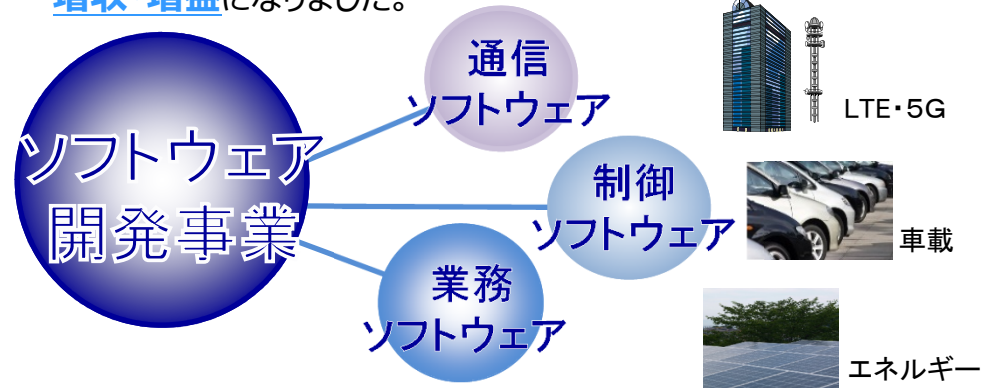
- ◇ソフトウェア開発事業は通信ソフトウェア開発が減少したものの、制御ソフトウェア開発及び業務ソフトウェア開発が好調に推移し、事業全体として前年同期を大きく上回る結果となりました。
- ◇サービス事業はS I サービス（構築・保守・運用・評価検証サービス）が継続案件等により堅調となり、自社プロダクトである **Cyber Smart** シリーズ製品の販売は好調に推移いたしました。
- ◇その他事業は今期より追加した不動産関連事業であります。自社所有の不動産物件の賃貸収入であり、今期より売上高に計上しております。本事業は今後も大きな変動がなく安定的な収入を見込んでおります。

3. セグメント別業績

ソフトウェア開発事業



●売上高は 42億73百万円（前年同期比 14.4%増）、営業利益は 6億2百万円（前年同期比 10.1%増）と **増収・増益**になりました。



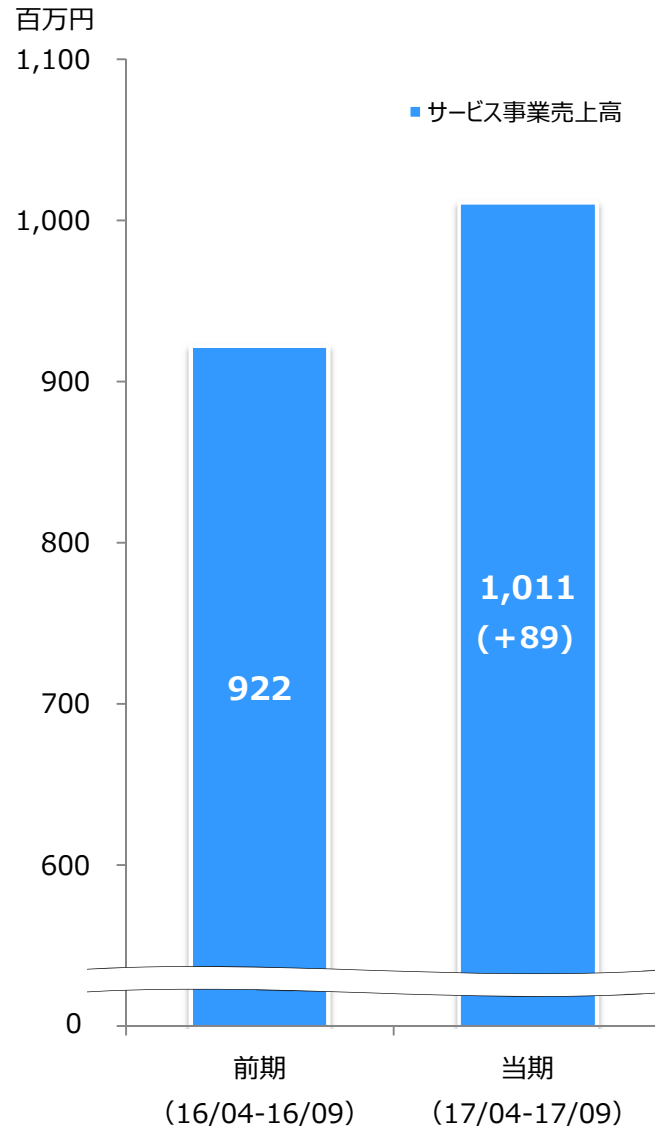
◇通信ソフトウェア開発は、国内外の通信キャリア向けシステム案件が減少し、好調分野への要員シフト等の影響もあり、売上高は8億98百万円（前年同期比 9.8%減）、営業利益は1億34百万円（前年同期比 16.1%減）と **減収・減益**になりました。

◇制御ソフトウェア開発は、自動車関連の案件が好調に推移し、売上高は14億10百万円（前年同期比 32.0%増）、営業利益は1億94百万円（前年同期比 35.8%増）と **増収・増益**になりました。

◇業務ソフトウェア開発は、企業向け業務システム、エネルギー関連システム、生保システム、E Cサイト構築、医療システム等の開発案件が好調に推移し、売上高は19億65百万円（前年同期比 17.6%増）、営業利益は2億73百万円（前年同期比 12.3%増）と **増収・増益**になりました。

3. セグメント別業績

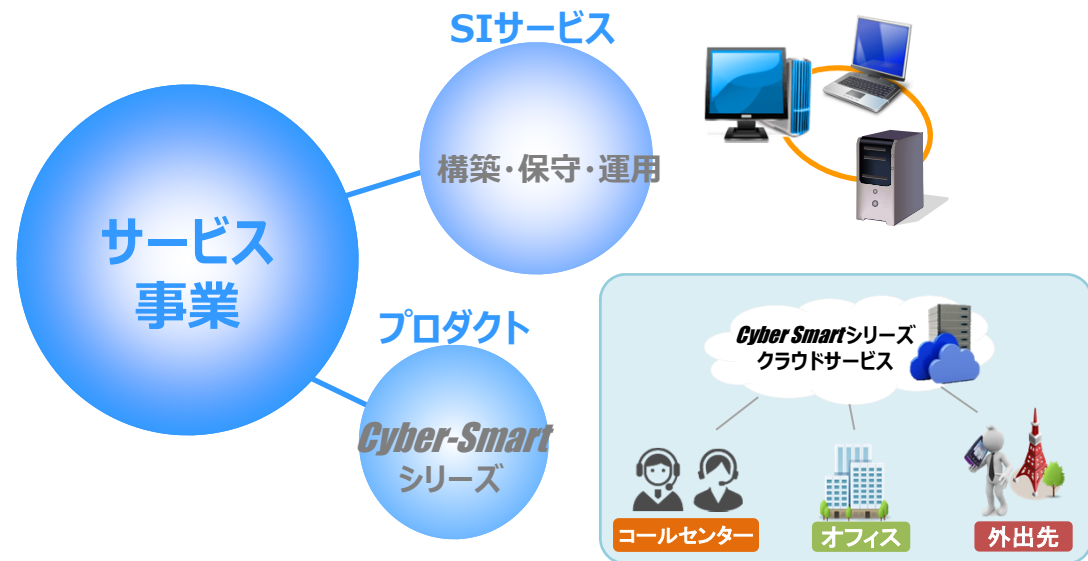
サービス事業



●売上高は 10億11百万円（前年同期比 9.7%増）、
営業利益は 1億45百万円（前年同期比 30.7%増）と
増収・増益になりました。

◇SIサービスにおいては、クラウド化対応案件や通信キャリア向け
ネットワーク構築案件に加え、保守・運用・評価検証案件も
堅調に推移いたしました。

◇自社プロダクトにおいては、**Cyber Smart** シリーズ製品にて
お客様ニーズに柔軟に対応することでコールセンター構築案件
の受注やクラウド版の販売が好調に推移いたしました。



4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

	前期末 17/03	第2四半期末 17/09	前期末差
流動資産	4,162	3,953	▲209
現金及び預金	727	1,002	274①
受取手形及び売掛金	2,253	2,428	174
棚卸資産	85	80	▲5
短期貸付金	803	201	▲602①
その他	291	240	▲51
固定資産	3,155	3,172	16
有形固定資産	2,574	2,539	▲34
無形固定資産	87	105	18
投資その他資産	494	526	32
資産合計	7,318	7,125	▲192
流動負債	1,782	1,406	▲375
買掛金	337	346	8
未払金	511	69	▲442①
未払法人税等	112	106	▲6
未払消費税等	15	111	96
賞与引当金	497	447	▲50
その他	307	326	19
固定負債	1,432	1,520	88
退職給付引当金	1,414	1,500	85
役員退職慰労引当金	17	20	3
負債合計	3,214	2,927	▲286
純資産合計	4,103	4,197	93②
負債純資産合計	7,318	7,125	▲192

◇主な増減要因

- ①現金及び預金 (前期末差 2億74百万円)
- ①短期貸付金 (前期末差 ▲6億2百万円)
- ①未払金 (前期末差 ▲4億42百万円)

本社移転に伴う未払金を支払う
(負債が減少) ことにより
現金及び預金と短期貸付金が減少しました。
(手持ち資金が減少)

- ②純資産合計 (前期末差 +93百万円)

剰余金の配当 (1億4百万円) があったものの、
当期純利益1億98百万円により増加しました。

5. キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローのポイント

(単位：百万円)

	前期 (16/04-16/09)	当期 (17/04-17/09)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	75	109	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲75	270	345
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲105	▲104	273
現金及び現金同等物の増減額	▲104	274	378
現金及び現金同等物の期首残高	992	727	▲264
現金及び現金同等物の期末残高	887	1,002	114

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

賞与の支給や法人税等の支払に伴う支出があったものの、税引前四半期純利益により109百万円の収入（プラス）となりました。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

本社移転による固定資産取得や、CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）を利用した余剰資金の運用等により270百万円の収入（プラス）となりました。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いを行い1億4百万円の支出（マイナス）となりました。

6. 業績予想

Cyber Com

2017年12月期 予想

(単位：百万円)

	当期実績(2Q) (17/04-17/09)	業績予想(2Q) (17/04-17/09)	増減/予想比		業績予想(通期) (17/04-17/12)
売上高	5,315	4,900	415	8.5%	7,500
営業利益	285	225	60	27.0%	380
営業利益率	5.4%	4.6%	—	—	5.1%
税引前 四半期(当期)純利益	293	235	59	25.2%	390
四半期(当期)純利益	198	155	43	27.9%	260
四半期(当期)純利益率	3.7%	3.2%	—	—	3.5%
1株当たり純利益	24.70円	19.32円	5.38円	—	32.41円
ROE	4.8%	—	—	—	—

※当社は2017年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。

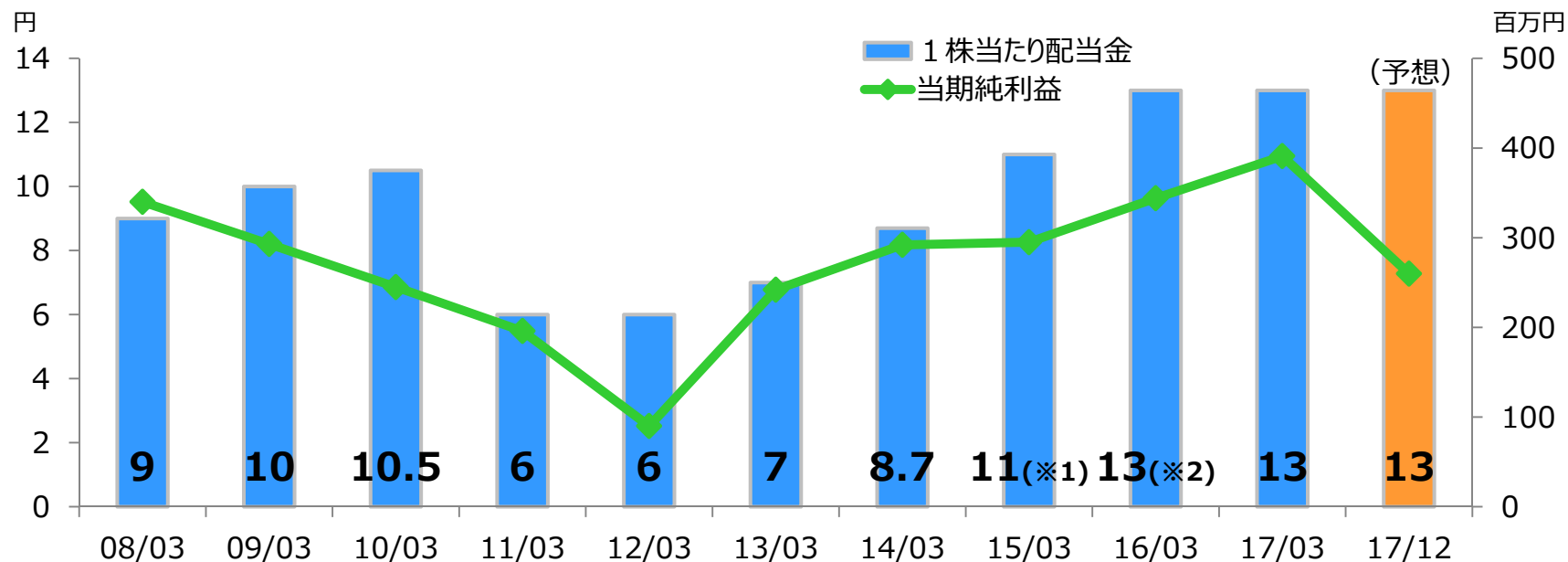
経過措置となる2017年12月期の業績については9カ月間（2017年4月1日～2017年12月31日）の予想値を記載しております。

- ◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業が好調に推移し 53億15百万円（業績予想比 8.5%増）と増収になりました。
- ◇営業利益は、増収の影響に加え販管費の減少により 2億85百万円（業績予想比 27.0%増）と増益となりました。
- ◇四半期純利益は、営業外収益が減少しましたが増収効果の影響により 1億98百万円（業績予想比 27.9%増）と増益となりました。

※通期の業績予想につきましては、2017年5月11日発表の業績予想のとおり変更ありません。

7. 株主還元（予想）

配当金（年間）：1株につき13円
（配当金総額：104百万円 配当性向40.1%）



* 当社は2017年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。

経過措置となる2017年12月期の業績については9カ月間（2017年4月1日～2017年12月31日）の予想値を記載しております。

※1普通配当 9.5円 + 二部上場記念配当 1.5円 ※2普通配当 11.5円 + 一部上場記念 1.5円

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、『安定した配当』を継続して実施していくことを基本方針としております。内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応するための人材育成や経営情報システムの高度化への積極的投資、さらには、M & Aや新事業創出のための研究開発投資等に活用し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

上記方針に基づき、決算期変更により9カ月間の決算となる今期の利益配当につきましては、1株当たり13円を継続する予定であります。

8. 決算期変更

今期（2017年度）決算は4月から12月までの9カ月間

変更理由

親会社との決算期統一を図り、経営計画の策定や業績管理など事業運営の効率化を推進すると共に、今後見込まれる海外展開（自社プロダクトの販売・協業等）を考慮し、当社の事業年度を毎年1月1日から12月31日までに変更いたしました。

変更内容

変更前：毎年 3月31日

変更後：毎年12月31日

決算期変更の経過期間となる今期（第40期）は、2017年4月1日から2017年12月31日までの9カ月決算となります。

9. 参考資料

会社プロフィール

名称:	サイバーコム株式会社 Cyber Com CO.,Ltd.
所在地:	本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル 横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34
設立:	1978年12月4日
代表者:	代表取締役社長 渡辺 剛喜
資本金:	3億99百万円
社員数:	958名(2017年9月末現在)
事業内容:	ソフトウェア開発事業、サービス事業

2017年12月期の主なニュース

	内容
2017/10/10	『 Cyber Smart 』シリーズ製品を11月9日開催「コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2017 in 東京」に出展
2017/06/23	第39回定時株主総会決議の定款一部変更により決算期を3月31日から12月31日に変更(※)
2017/06/23	第39回定時株主総会決議の定款一部変更により事業目的に不動産関連事業及び電気通信事業法に基づく電気通信事業を追加
2017/05/29	機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催

※経過措置となる2017年12月期は9カ月間(2017年4月1日~2017年12月31日)の決算となります。